

小学校 5年 道徳の時間 学習指導案

「他人や社会への影響を考えて行動する」

日 時：平成 年 月 日（ ）

場 所：

授業者： 教諭 伊藤 卓哉

- 1 主題名 自分の責任 1－(3) 自由・自律
資料名 だれも知らないニュース（文溪堂 5年生の道徳）

2 主題について

(1) ねらいについて

人はだれしも自由を求めるものであり、そうする権利をもっている。しかし、集団生活を営んでいる以上、個々が勝手気ままな行動を取っては、集団の秩序は保たれない。最終的には、だれもがみな自由に暮らすことができなくなり、お互いの権利を冒すことになりかねない。一人一人が自由であるためには、秩序が保たれるよう、そのときどきにおいて的確に判断する力、自らを律する力が必要である。

高度情報化社会の本格的な到来を目前とし、だれもが情報の発信者、受信者になる時代がやってこようとしている。インターネットの掲示板に限らず、情報の正確性を気にしたり、誤った情報を流さないようにしたりすることは、社会生活を営む上で大切なことである。社会参画の基礎を育てるためにも、早い時期から自律して責任のある行動ができるようにする力の育成が求められている。

(2) 児童の実態について（男子〇〇人・女子〇〇人：計〇〇人）

<アンケートの結果より>

- ①あなたの家にはパソコンがありますか。
ある：〇〇人（インターネット接続：〇〇人） ない：〇〇人
- ②パソコンでどんなことをしますか。（複数回答）
- ・ 付属のソフトで、文書を作ったり、お絵かきをしたり、葉書を作ったりする：〇〇人
 - ・ インターネットを使って調べる：〇〇人 ・ メール：〇〇人
 - ・ 掲示板を見たり、書き込んだりする：〇〇人
 - ・ ニュースやスポーツの結果を見る：〇〇人
 - ・ ゲーム（ネットゲーム）：〇〇人
- ③もしうわさ話を聞いたらあなたはどうしますか。
- ・ 気にしない、ほうっておく：〇〇人
 - ・ うわさ話が本当かどうか確かめる：〇〇人
 - ・ 家族や仲のよい友だちだけに話す：〇〇人
 - ・ いろいろな人に知らせたいので、できるだけ話す：〇〇人

<日頃の実態より>

- 日常生活におけるルールやマナーを守ろうとする児童が多いが、時として一部の児童の発言や考え方に流されてしまうことが少なくない。

- 学習に対して受身な児童・発言することに対して消極的な児童が多い。小グループでの学習であれば意欲が高まる児童が多く、日頃の授業づくりにおいてもグループ学習を取り入れている。

(3) 資料について

美夏はタレントのシユウのファンである。情報を収集したり、友だちを作ったりして、インターネットの掲示板を楽しんでいる。ある日、近くの商店街にシユウがテレビ番組の撮影のためにやってくるという話を聞く。美夏は、真偽を確かめずにその情報を掲示板に書き込んでしまう。撮影がうわさされた日が近づいてきた。美夏は、商店街のおじさんから撮影が行われなことを聞いたが、当日は別の用事ができたため、掲示板の修正をせずに出かけてしまう。その帰り道、商店街でシユウを見に来たという人々に出会い、事の重大さに気づく。

本資料は、情報を発信する側の自由と責任について考えさせることができ、情報モラル教育の視点で学習する上でも適した資料である。

(4) 指導にあたって

①導入部分

- ・プロジェクターを利用して掲示板のキャプチャー画像を提示し、資料の場面を具体的に把握させた上で資料の読み取りに入る。

②展開部分

- ・美夏の心情を吹き出しにして板書しながら、美夏が情報を流したい気持ちとうわさを流しているのかと迷う気持ちで揺れ動いていることをとらえさせたい。
- ・商店街に集まった人々を見た美夏の気持ちを考えさせた後で、美夏に足りなかったことは何か考えさせたい。その視点から考えさせることで、「自由に書き込みができる掲示板であるが情報を発信する側には慎重な判断や責任が伴うことを押さえたい。
- ・展開後段では、実生活における自由の場면을想起しながら価値の一般化を図りたい。児童から場面が出てこない場合には、場면을提示しながらそのとき自分がどうしているか振り返らせたい。

③終末部分

- ・情報が人々の生活や安全に役に立った事例を紹介し、情報化社会のよさについても気づかせ、情報は正しく利用していこうとする心情を高めさせたい。

(5) 情報モラル教育の視点から

- ア 本時は、情報モラル指導モデルカリキュラムにおける分類1「情報社会の倫理」a3「他人や社会への影響を考えて行動する」との関連を重視して展開する。
- イ 本題材は、情報化社会での情報を発信する側の責任について題材化を図ったものである。自由に書き込むことができる電子掲示板においても、公共の場であることを踏まえ自分が書き込む内容（発信する情報）に責任を持つことの大切さをしっかり考えさせたい。

(6) 人権教育の視点

- ア 自分の考えを、自信を持って発表できるような支持的風土づくりに努める。
- イ 他の人の意見も尊重しながら、ともに学習しようとする態度を育てる。

3 本時の学習

(1) 目標

自由を大切にし、自分で考え、判断して、責任のある行動をしようとする心情を養う。

(2) 展開

過程	学習活動と主な発問	児童の反応	指導上の留意点と評価	備考
導入 10分	<p>①めあてをつかむ。</p> <p>○この画面が何かわかりますか。</p> <p>○美夏が何かに熱中しています。それは何ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの画面だ。 ・掲示板の画面だ。 ・ネット掲示板 ・シュウというタレント 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の関心を引きそうなネット掲示板の画像を提示し、本時の学習への方向付けをする。 ・資料の前半部分のみ読み場面把握をした後、掲示板に熱中する美夏的心情や行動に関心を持たせながらめあての提示につなげる。 	<p>掲示板画面</p> <p>資料文</p> <p>めあて短冊</p>
展開前段 20分	<p>②資料を読んで話し合う。</p> <p>○掲示板でやりとりをしているとき・シュウのうわさを聞きつけたとき・掲示板に書き込んだときはどんな気持ちだろう。</p> <p>◎お兄さんの話を聞いて美夏はどんなことを考えたか話し合ってみましょう。</p> <p>○美夏に足りなかったことは何だろう。(一体どうすればよかったのだろう。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなことを話せるのは楽しい。 ・わたしも書き込みしてみたい。 ・早くみんなに伝えたい。 ・本当に正しい情報だろうか。 ・みんなに迷惑をかけてしまった。 ・書き込まなければよかった。 ・真偽を確かめなかったこと ・責任を持って掲示板を修正しなかったこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面によって移り変わる美夏の心の動きを、共感的な立場でとらえさせたい。 <p>評価 美夏の後悔する気持ちを考えている(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街のおじさんに真偽を確かめたにもかかわらず、掲示板を修正しなかった点が一番問題であることに気づかせたい。 	<p>板書用吹き出し・短冊</p> <p>学習シート</p>
展開後段 10分	<p>③自分の生活を振り返る。</p> <p>○日常生活の中で自由にできてよいと思うことにはどんなことがありますか。</p> <p>○次のような自由の場面でみんなはどんなことを考えていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足での自由行動は楽しい。 ・休みの日は自由にできる時間がたくさんあっていい。 ・お年寄りや体の不自由な人が乗ってきたら席を譲りたい。 ・好きなだけ食べたら(飲んだら)、後の人の分がなくなるかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自由」な場面を想起させ、自由のよさを感じられるようにする。 ・自由な場面にも責任があり、責任ある行動をするからこそお互いの自由が守られることを感じ取らせたい。 	<p>スライド</p>
終末 5分	<p>④教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報は使い方によっては人の役に立つんだな。 ・わたしたちの生活はいろいろな情報で支えられているんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で情報が生活に役立っている例を紹介し、情報は生活に欠かせないこと・使い方を間違わなければ有用であることに気づかせ、情報化社会によりよく参画する心情を高めさせたい。 	

4 モデルカリキュラムの位置づけ

情報モラル	道徳、各教科・特別活動 他
a3: 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ	道徳 自分の責任 「だれも知らないニュース」 ・自由、自律
b3: 情報に関する自分や他者の権利を尊重する	
c3: 情報社会でのルール・マナーを遵守できる	道徳 あいさつの大切さ 「オーストラリアで学んだこと」 ・礼儀
c3: 情報社会でのルール・マナーを遵守できる	道徳 約束や規則の尊重 「星野くんの二るい打」 ・規則の尊重
c3: 情報社会でのルール・マナーを遵守できる	社会 食糧生産を支える人々 「これからの食糧生産」 ・これからの食糧生産と、環境・消費者について理解を深める。
d3: 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる	総合的な学習の時間 インターネット利用上の注意「そのページ開いて大丈夫」 ・インターネット上には、さまざまな有害情報があることを知り、そのような情報に出会った場合の適切な対処法を考えることができる。
d3: 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる	家庭 くふうしよう！ かしこい生活 「品物の買い方を考えよう」 ・金銭の大切さを理解し、品物の情報を上手に活用しながら、目的に合った品物の選び方や買い方ができる。
d3: 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる	総合的な学習の時間 電子メールの利用「電子メールの使い方」 ・メールの利用上のルールやマナーを学ぶとともに、チェーンメールや迷惑メールなどの問題点を理解し、適切に対処できる。
e3: 情報を正しく安全に利用することに努める	国語 「ニュース番組作りの現場から／編集して伝える」 ・ニュース番組の取材から放送までの大事なことを読み取り、グループ毎に必要な材料を集め、伝えたいことを考え編集し、伝える活動をする。
f3: 安全や健康を害するような行動を抑制できる	
g3: 生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る	
h3: 情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる	
i3: 情報社会の一員として、公共的な意識を持つ	道徳 公共の広場を大切に 「駅前広場はだれのもの」 ・公德心